

第 126 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 27 年 11 月 17 日（火） 13：30～15：00

場 所：中央図書館 2 階多目的第 1 ホール

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長 横田次長（教育総務課長）佐々木課長 滝本室長（欠席）

山根課長 島田館長 長見所長 渡邊課長 小田室長

大崎分室長（欠席） 栗栖分室長（欠席） 森下分室長

吉野分室長（欠席）

書記：小林係長 日ノ原主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 浜田市教育振興計画素案について

(2) 公民館職員の選任について

3 部長・次長・課長等報告事項

4 その他

1 教育長報告

石本教育長

雨が降っている。本来ならばこの時期に降る雨はもっと冷たい雨かもしれないが、暖かい雨が降っている。先ほど始まる前に、藤本委員がラジオで今年の冬は遅いのだと聞いたという話をされた。暖かいのが続くのも良いが、寒い時には寒くならないといけない地域もあると思う。

今年度の教育委員会のボランティア表彰が行われた。

① 10 月 27 日（火）平成 27 年度浜田市教育委員会ボランティア表彰（原井小）

交通指導員をされている東さんが表彰された。山本部長が出席した。

② 10 月 29 日（木）平成 27 年度浜田市教育委員会ボランティア表彰（今市小）

勝田さんが見守り活動という事で表彰されている。これは藤本委員に出席いただいた。

③ 10 月 30 日（水）平成 27 年度浜田市教育委員会ボランティア表彰（周布小）

周布地区のボランティアの関係で、村井さんという女性の方、力石さんという男性の方、徳田さんという女性の方、3名の方の表彰を行った。

今までは団体等の表彰であったが、今年度については5名の方全員が個人の表彰であった。

④ 10月30日（水）第27回島根県中学校女子駅伝競走大会（三瓶高原）

昼から大田市で三市三町教育長会議が行われた為、午前中行われた県の中学校駅伝大会へ行って来た。

昨年、第三中学校が優勝して全国大会へ行ったが、今年は残念ながら頑張ったが3位であった。2位と3位の差はあまりなかったが、優勝した河南中学校はぶっちぎりであったが、かなりの差で優勝された。

⑤ 10月30日（水）第61回島根県中学校男子駅伝競走大会（三瓶高原）

男子の方は順位的にふるわなかったが、浜田東中学校の三浦君が1区で区間賞を取っている。

浜田の子どもたちがそれぞれ頑張った。

⑥ 10月30日（水）三市三町教育長会議（大田市）

この中で、来年度の島根県の公立学校教員採用の事について話があった。小学校の先生は100名の採用予定で、合格者は公務員なので名簿登載は100名という事であった。

中学校は、50名くらいの採用予定で52名名簿登載。

高校は、32名の採用予定数に32名の合格者を登載した。

小学校が3.6倍、中学校が6.5倍、高校が11.6倍という事で、これは情報提供として話をした。

⑦ 11月2日（月）第2回総合教育会議（庁議室）

委員方全員にも出席していただき第2回の総合教育会議で教育大綱の検討を行った。

⑧ 11月4日（水）平成28年高校総体体操競技ポスター原画選考会（教育委員室）

来年、高校総体の体操競技が県立体育館を中心に行われるが、ポスターの原画の選考会が行われた。高校生から7作品が出ていたが、その中から浜田高校の生徒の作品を最優秀に選び、その原画を基に浜田大会のポスターを作る事が決まっている。

⑨ 11月5日（木）～6日（金）B&G全国教育長会議（東京都）

小林係長
石本教育長

これは、県の幹事が松江の教育長になっているので、本来は松江の教育長が出席するが、都合が悪いという事で、代理で出席をしてきた。出席をしたら早速、三隅の B&G の活動報告をしてほしいという事で 15 分程、三隅 B&G が作成した資料を説明してきた。

⑩ 11月8日(日)平成27年度石見地区幼稚園 PTA 連合会研修大会(美川幼稚園)

石見地区の幼稚園といっても、この連合会に入っているのは浜田市が公立の4園と、江津市が1園、合わせて5園でこの連合会の活動をしている。1年おきに当番校があり、去年は原井幼稚園、今年は美川幼稚園、来年は長浜幼稚園という事で、5年のうち4年は浜田市内で行われる。

⑪ 11月9日(月)～10日(火)市議会臨時会

市議会議員方、2年間の改選時期となり、議長、副議長、常任委員会の構成が新たに決定されている。

このことについての表はあるか。

一番最後に付けている。

そういった資料があるのでご覧いただきたい。

10日の日には、花田委員が11月18日で現在の任期が終了するという事で、再任に向けてお願いをしてきた。10日の日に、再任の議会同意をいただいた。19日から4年間よろしくお願ひしたい。併せて、19日の8時40分から市長からの辞令交付が行われる。

⑫ 11月10日(火)第10回浜田市小中学校連合音楽祭(石央文化ホール)

今までは2日間で開催をしていたが、今年からは1日で開催をするという事である。送迎のバスの関係等あると聞いている。各校1分間ずつ演奏または歌を歌う時間を短縮して、間の入れ替えの時間も短縮をされ1日で開催された。15時30分頃には終了したという事を聞いている。私は議会の関係もあり参加が出来なかったが、教育委員方には参加をいただいた。

⑬ 11月14日(土)第4回租税作品合同表彰式(ゆめタウン浜田)

小学生が絵ハガキで税に関する啓発をする作品を作成している。中学生と高校生は、作文と書道で作品を出していた。それぞれの分野の合同の表彰式であった。合同表彰式は、4回目の開催だが、絵ハガキコンクールは20年位続いている。それまで

は、税務署の職員の方が、入賞された生徒の学校を回り表彰を行っておられたが、一同に帰して表彰式を行う事になってから4年目である。それぞれの作品の募集は20年位続けておられる。

⑭ 11月15日(日)第28回浜田・広島(沼田)友好駅伝出発式
(市役所前広場)

沼田という所が広島の安佐南区にあるが、その公民館が中心となり沼田まつりというものを毎年行っておられる。その祭りの一つのイベントとして、浜田をスタートして15区間走ってタスキを繋ぎ、沼田まで走るという事であった。日曜日の15時頃閉会式を行っているときにゴールをするという、時間を調整しながら走る駅伝である。8時5分に浜田市役所をスタートされた。この駅伝は28年続いている。沼田まつりは40年続いているということである。来年、再来年は沼田公民館建て替えの時期に入るという事で、2年間はそのイベントがお休みになる様である。どんな公民館になるのかと伺うと、健康センターも含め、複合施設にして4階建ての大きなビルが出来るという話であった。3年後にはこの駅伝が再開する。この駅伝は広島からランナーが来られて走られるが、途中まで浜田のランナーも伴走するという事で、今回は15区間の4区まで、小国橋まで浜田の中学生、陸上競技協会の方、陸上、マラソンの愛好者の方が走られた。

⑮ 11月15日(日)平成27年度島根県退職校長園長会浜田支部
研修会(浜田ステーションホテル)

浜田市の教育について、90分の時間があるので話をしてほしいという依頼があった。層々たるメンバーの中90分間話をしてきた。随分昔の元校長先生方もおられたので、教育委員会制度が新しくなった事、現在の学習指導要領の話、国の動きを前段でお話をして、浜田の子ども達の様子、学力状況調査の話、それを受けてふるさと教育を社会教育と共に行っている事、学力向上の対策事業を行っているという話をした。全ての根底には人権教育があるという話をして、私の教育に対する思いも話をさせていただいて終わった。

質疑応答

沼田公民館が主催した駅伝の件、浜田の方が途中まで伴走されたということだったが、1つのチームで繋がれたという事か。

藤本委員

石本教育長	人数が足りないときは同じ人が違う区間を走ることはあるが、今回は人数が揃ったので、1区から15区まで違う人が走られた。15区間、94.9kmである。1人が6kmから7kmくらい走られる。
藤本委員	浜田から走るといふ事に意味があるのか。
石本教育長	そうだと思う。祭りの主催の関係者の方と大谷元市長と繋がりがあつた。そこで浜田をスタートに沼田まで走るといふ事が始まつた様である。ペース的にはかなり早い。3区まで行つたら、あとはずっと上りなので、きついコースである。
藤本委員	分かりました。
石本教育長	その他質問はあるか。
各委員	質問事項なし。

2 議題

(1) 浜田市教育振興計画素案について（資料1）

横田次長	<p>前回の定例教育委員会でも説明をしたが、浜田市教育振興計画の審議会について報告をさせていただいた。明日、18日に第1回審議会が開催される。その審議会に対して、この度、策定を予定している浜田市教育振興計画の素案という事で作成中の物を提示して委員方に意見をいただく。この振興計画の策定について説明をさせていただく。</p> <p>浜田市教育委員会では、今まで平成22年から現在まで平成27年度までの計画として、はまだっ子プランというものを策定して教育の振興に取り組んでいるが、28年度からの新たな計画を策定する必要がある。27年度は、浜田市総合振興計画の策定、浜田市教育大綱の策定等もあり、重要な計画が上位計画としてあり、上位計画との連動を図りながらこういった計画を作成する必要があると考えている。</p> <p>今回、策定する教育振興計画だが、上位計画との整合性を取りながら、より教育を取り巻く環境の変化、諸課題を解決するための実施計画としてのアクションプランとして位置付けたい。</p> <p>資料の2ページ、3ページをご覧いただきたい。今回は、上位計画との関係を表す形で表記している。市の総合振興計画が現在策定されているが、その中の教育部門という所で目指すまちづくりの大綱が、「夢を持ち郷土を愛する人を育むまち」である。そまちづくりの中に、5本の施策の柱と作成されている。その柱は学校教育の充実、家庭教育支援の推進、社会教育の推進、生涯ス</p>
------	--

ポーツの振興、歴史・文化の伝承と創造である。こういう施策を総合振興計画の教育部門の大綱をこの度、浜田市の教育大綱として位置付けるという事で協議を進めている。市の教育大綱という事で、教育部門を当てはめていくという形で計画を作っていくよう考えている。そのイメージ図が3ページになっている。

浜田市の教育大綱の理念として、その振興計画のまちづくりを持って来るわけであるが、先程申し上げた、まちづくりではなく人づくりという事で、教育振興計画では「夢を持ち郷土を愛する人を育みます」という形で理念を考えたいと思う。その資料が8ページ、9ページになる。教育大綱をこの振興計画の教育理念としてそれぞれの施策を行うわけだが、その施策の中でアクションプランという事があり、それぞれの部署から挙げてくる事業に取り組むという形になる。教育振興計画の位置付けという所で、総合振興計画、教育大綱、そしてそれをもって教育振興計画を策定していくという事である。具体的な施策という所では、資料の11ページ以降が具体的な施策になってくる。この素案を明日、委員方に提示し、それぞれアクションプランという実施計画についての意見を委員方に伺う。上位計画の方で理念や大綱的な施策が決まっている為、それに伴う実施計画の事業について審議いただくという事で諮問をさせていただければと思っている。

石本教育長

全体的な説明があったが、今年度総合振興計画を策定している。ほとんど出来上がっており、あとは議会の承認をいただくという所まで進んでおり、策定にあたっては、藤本委員、花田委員にメンバーとして出ていただき、教育部門等についての細かな計画を作っていた。そういった上位計画の理念を、教育の大綱の中にも謳い込んでいるが、それをもって教育大綱を全体的な理念として持って、その下の実施計画を今回教育振興計画として入れ込むという説明であったと思う。

この素案を教育振興計画の審議会の方に諮り、素案は事務局で作成しているので、実施計画等を委員方に吟味していただき、最終的に作り上げるという事である。総合振興計画はゼロからたたきあげて委員方に作ってもらったが、教育振興計画は実施計画なので基本的な素案は事務局で作成し、それに対する意見を委員方にいただくという形という事である。

小林係長
石本教育長

そうである。

審議会は3回開催されるのか。

小林係長 石本教育長	スムーズにいくと3回である。 中身の方については審議会でたたいてもらったものを最終的には教育委員会で手直しをして決めるという事が流れになると思う。そのため、今日は内容の説明がなかった。この流れ、考え方について意見等あるか。
藤本委員	今既に素案という形でアクションプランが示されている。これを審議会で審議するわけなので、そこには新しく入ってくるものもあれば、抜けるものもあるという動きもあるかもしれない。最終的には私たちに報告をもらえと思う。この資料も見させてもらったので、今日の所で質問等は特にはない。
宇津委員	資料は事前に目を通したが、余分な所があった。12 ページ、家庭教育支援の推進の所の(2)の青少年の健全育成が2回続いているのは何故なのかと思った。
小林係長 宇津委員 横田次長	印刷が綺麗に出ず、右側の健全育成の所が本当は囲ってある。分かりました。 具体的な取組という事業だが、総合振興計画の中に教育委員会から綴っている事業が挙げられている。これがさらに充実していくことになると思う。実際、素案を作る中で追加した事業もある。
石本教育長 金本委員	金本委員、質問はないか。 今更かもしれないが審議会の委員の年齢層がすごく高く、もう少し子育て世代の方の参画は無理だったのかなと思う。
石本教育長	確かにそうである。子育て世代となるとPTA 連合会の下岡さんくらいになる。
金本委員 石本教育長 小林係長 石本教育長	代表となるとそういう風になってしまうのかなと感じた。 審議会から答申をいただくが、パブリックコメントも行うか。その予定である。 パブリックコメントを行っているが、市民の皆さんに分かってもらえずという意見が出てこないで、パブリックコメントを行っているというPRをどこかでしっかりと考えなければならぬといけない。意見が出ると事務局は大変だが、やはり市民の声を聴くことは大事なので、審議会以外の声を拾い事務局も考えてほしいと思う。
花田委員 石本教育長	花田委員、質問はないか。 特にはありません。 大綱について、総合教育会議で委員方の意見を加味して修正したものは市長の決裁がまだ下りていないのか。

小林係長	最終的にはまだ下りていない。とりまとめ中であるが、資料 86 ページからが、これが今、最終形として決裁を回しているものと同一のものである。
石本教育長	分かりました。
横田次長	ご意見をいただきありがとうございます。訂正をするものがあり、もう一度決裁を回す。
石本教育長	今日の所は、こういった形で審議会の方へ資料提供をして、これを基にたたいてもらうという提案である。こういった形で進めさせていただくという事で、ご了解いただけるか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	この素案をもって、明日開かれる第 1 回教育振興計画審議会の方に諮って参りたいと思う。 最終的には審議会の答申があつてから教育委員会の中でという事だが、内容が多いので時間がある時に目を通しておいてもらえたらと思う。

(2) 公民館職員の選任について (資料 2)

山根課長	今市公民館の館長、新崎通治さんが急遽仕事の関係にもなるが、館長職員の職を辞任するという事で申し出があり、10 月 31 日をもって辞任したいということで、事後にはなるが、新たに後任に川本進さんを館長に任命という事で承認をいただきたい。川本さんについては、今市の方で、現在、今市地区の自治会長をされている。以上、よろしく願いいたします。
石本教育長	自治会長をされているという事はご高齢の方か。
山根課長	72 歳である。
石本教育長	これについて意見等あるか。
各委員	質問事項なし。
石本教育長	承認してもよろしいか。
各委員	全会一致で承認

3 部長・次長・課長等報告事項

山本部長	① 平成 27 年 12 月浜田市議会定例会 提出議題 (資料 3) 11 月 30 日開会である。 現在、サンビレッジにフットサルコートを整備しており、来年 4 月から使えるようになる。人工芝でのフットサルコートである。使用料の改正という事で資料がある。右側にも一覧表が
------	--

あるが、フットサルコートを設置ることによって中学生以下が250円、高校生・大学生・一般が510円という事で、サッカーコートの全面コートの半額、半面コートを使用した時の単価と同じ様に設定をするという事の条例提案で説明するという事である。

② 12月補正予算（資料4）

一覧表があるが、財源振替等もあるが、下の2つである。

旭図書館移転事業について、△85,495千円となっている。今市分校を改築して、旭図書館を移転する事で進んでいたが、本年度事業に入るにあたって、改めて確認をしたところ耐震に問題があるという事が分かり、再検討する事となった。当面見送りという事で、減額となっている。

浜田市室内プール改修事業について、9,666千円の補正である。昨年の3月で市の財産となったが、屋根の改修が必要であり、これに約1億円掛かるという事で、この整備を今年度と28年度で、11月から来年の5月までの所で改修を行う。その間の、収入減に対する営業補償、指定管理を出しているが、給料が払えないという事であり、そういった事への対応の補正という事である。

横田次長

① 平成28年度浜田市立幼稚園園児募集要項（資料5）

募集は裏面になるが、12月7日から12月16日を募集期間とし、その募集要項として皆さんにお配りするという形になる。

各園での募集対象、新規募集について、2の各園における募集対象の表の右半分を見てもらえればと思う。新規募集人数という事で各幼稚園の募集人数を表記している。この人数で募集を掛けていく。募集にあたって、先程期間を申し上げたが、申込書は各園に申込みをしていただくことになる。申込み後は、定員に達しない場合は随時受付を行う。この募集要項にて、28年度の園児の募集を行う。入園の許可については28年1月29日までに通知をもってお知らせするという形にしている。

② 行事等予定表について（資料6）

11月17日から12月20日までの間でこちらで把握している予定等の表示をした、先程あった、11月18日18時から第1回教育振興計画審議会が開催される。

19日は、花田委員の辞令交付式が行われる。

10月、11月で各学校の学習発表会、生活発表会が行われており、この予定表に記載している。

11月22日は開府400年記念プレ講演会が開催される。教育委員方には案内が出ているかと思う。ご都合がつけば出席いただきたい。

12月13日恒例となっている第24回浜田-益田間駅伝競走大会が開催される。

12月15日から16日にかけて、島根県の学力調査が実施される。

12月17日には人権作品コンクールの表彰式が開催される。これについては、委員方にも案内がされる予定である。

12月20日には東北楽天イーグルスの監督に就任された梨田監督の激励会が行われる。

ここに記載はないが、本日審査会が行われている図書館を使った調べる学習コンクールの表彰式が12月18日に中央図書館で行われる。

山根課長

第24回浜田-益田間駅伝競走大会（しおかぜ駅伝）の開催について（資料7）

12月13日（日）開催される。午前9時30分に益田陸上競技場をスタートし、しまねお魚センター前がゴールとなっている。9区間の42.195kmとなっている。昨年度の浜田市チームの結果で浜田が6位、三隅15位、金城16位、旭18位、弥栄22位という風になっている。この間に、浜田走路では走路員73人、主に市の職員がほとんどである。あとは長浜、周布地区の体育協会のメンバーの方、三隅走路においても81人の走路員、体育協会の関係の方だと思うが、出ていただく事になっている。

森下分室長

弥栄自治区人権を考えるつどい 笑いがつなぐ人権の輪（別添資料）

行事予定表から抜けていた。12月20日（日）に安城公民館祭り与人権を考える集いという事で、昨年までは別々で開催していたが、今年度は同時開催という形で安城公民館の祭りに合わせて人権を考える集いをセットした。講師先生は、何年か前までは落語家を呼んでいたが、ここ2、3年はそれとは離れて音楽を聴いたり、人権同和の講師の講演という形で行っていたが、今回は安城公民館祭りとお合わせたという事もあり、来場者

小林係長

の方もおられるので、再度落語家に来ていただき、半分は笑いがつなぐ人権の輪という事で講演をしていただき、残り半分は落語を披露していただくという事でセットをしている。

浜田市議会議員名簿（所属委員会等）（別添資料）

先程教育長からも話があったが、11月9日、10日の臨時会において、委員改選があり、新たに決定したものが資料の一覧である。資料の裏面が常任委員会の一覧となっている。総務文教委員も改選があり、一覧の通りになっている。岡本議員が委員長、上野議員が副委員長という事で改選されている。以下委員が、岡野議員、野藤議員、芦谷議員、佐々木議員、田畑議員、江角議員が総務文教委員となっている。

質疑応答

石本教育長

今回は報告事項が少ないが、資料3、4について質問はあるか。フットサルコートは何面出来たのか。2面出来たのか。

山根課長

1面である。コートと休憩所と避難所を兼ねた150㎡程の東屋を作った。

藤本委員

弥栄にもフットサルコートがあるが、両方出来たという事か。

山根課長

実際にフットサルの大会を行う際は、サッカーコートを区切って何面かを取って使用する事になると思う。フットサルコートの形はあるが、主に使われるのはサッカー大会のアップ場の方が多と思う。

藤本委員

私が懸念するのは、フットサルの大会は年間を通してそんなにないので、弥栄にあるものがサンビレッジにも出来たとなると利用頻度が減るのではないかと思う。1つの競技場が2つになると、1つの競技場当たりの開催が減るのではないか。

石本教育長

フットサル場の形にはなっているが、実際使用されるのは大会のサブグラウンドという形というか、練習コートに利用する事がほとんどであると思う。

山根課長

特に子どもはアップをしなければいけないので、その関係で使われる事が多いかと思う。大人の方はアップしなくても、される場合が多いとのことである。

石本教育長

大会のアップで利用する場合も料金はいただくのか。

山根課長

料金をいただく。

藤本委員

資料4の所で、旭図書館の移転事業の件、耐震が十分でなかった為変更されているが、耐震はしてあると聞いていたが、移

石本教育長 転はしないという事か。
 当面は移転しない。耐震工事をする多額の費用が掛かるので、そこまで改修した施設を使うのか、現在の施設を壊して新しいものを建てるかは分からないが、もう一度現在の今市分校の跡地を使う際に、検討委員会を設けて1、2年も検討されたと思うが、藤本委員さんもメンバーではなかったか。委員長であったか。

藤本委員 メンバーには入っていたが委員長ではない。耐震工事はしたという事を前提で聞いていたが。

石本教育長 私たちもそう聞いていた。しかし、実際に調べたら耐震強度が足りなかったという事が分かり、振り出しに戻り、今年付けた予算は落とす事になった。

藤本委員 現在の旭図書館の位置は不便な所にある。その内、どこかへ移転をしなければならないという事は現在の状況では言えないかもしれないが。考えていかなければいけないのかなと思う。

石本教育長 旭図書館は不便な所というより、狭い。
 島田館長 狭い。書庫もない。
 藤本委員 私は地元なので経緯を知っている。元々、農機具の修理庫だった所をリフォームして行ったが、場所は変わらない。少し奥まった所にある。どこか移転場所がないかなと思う。

石本教育長 資料3、4の所で他に質問はないか。
 各委員 特になし。

石本教育長 資料5の幼稚園の関係で質問はあるか。
 混合学級の編成基準について、変更はないか。

横田次長 変更はない。

石本教育長 今までの募集要項で変更がある所は、2(1)の募集人数が変わっているのでは。

小林係長 長浜幼稚園が従来は25名未満だった為、最初から混合学級にするという募集をしていたが、ここ1、2年は入園者が多く、現在で27名という事で、混合保育の基準を超えるので、単級での募集にしている。結果的に減になり、混合になる可能性も残っているが、募集の段階では混合保育から単級の保育に変更している所が従来と比べての変更点である。基準についての変更はない。

裏面の3の保育料について。子ども子育て支援制度の施行に伴い、保育料については応能負担という事で従来から説明をし

ていたが、27年度については経過措置として、上限7,500円という事で従来料金からの据え置きにしていたが、その経過措置が今年度で終了し、28年度については基準額通りとなり、第4階層が8,250円、第5階層が9,000円という事で、750円ずつ値上がりをする。これについても28年度からという事で変更点となっている。大きな変更については以上である。

石本教育長 保育料は来年度から変わるという事であるが。現在は、7,500円が一律の金額か。

小林係長 第2階層以下については、この基準の通り低くなっている。

石本教育長 第4階層、第5階層については、増額になるという事である。これは昨年の3月議会で承認されている事項なので、金額を変えることは出来ないが、第2子は半額、第3子以降は無料という事があるが。

小林係長 第2子半額、第3子無料という事である。

石本教育長 この書き方では分かりにくいと思うが。前みたいに右側に第2子、第3子と表記されている方がわかりやすい。作成していると思うので、修正は難しいと思うが、来年度作成するときには修正をした方が良い。

小林係長 広報については紙面の都合上もあり大きい表は載せられないが、ホームページについては工夫の余地があるので、その点について調整をする。

石本教育長 検討をお願いしたい。

小林係長 ホームページは第2子、第3子が掲載されている。

国の基準の上限額が27年の1月頃に第2階層が3,000円という事で変わった。国の予算の状況もあると思うが、軽減措置が入ってくると反映をすることも想定される。

藤本委員 第4、5階層の方は実際におられるのか。

小林係長 幼稚園の場合は、第4階層が75%であり、4分の3、大半がこの階層になる。

石本教育長 5階層は少ないのか。

小林係長 5階層は10%なかった位だと思う。

藤本委員 幼稚園の事を考えると、かなり低い保育料だと思う。

小林係長 そうである。同額でいった場合、特に第2子の適用の有無で、10分の1になるという事例もあった。保育時間の関係もあるが。

石本教育長 この要項は各園に送付しているか。

小林係長 これから送る。

石本教育長	保育料の※印の所があり、小学校 3 年生以下とある部分、児童はとあるが園児が正しいと思う。
小林係長	修正します。
石本教育長	長浜幼稚園は 3 クラスで募集をするが、2 クラスになるという場合もあるという事であるか。
小林係長	そうである。
石本教育長	幼稚園の募集要項については他に質問等あるか。
各委員	質問事項なし。
石本教育長	行事予定表について質問はないか。
藤本委員	教育委員の部分に○印が付いているのは分かるが、最後に言われた 12 月 18 日は何の行事であったか。
横田次長	調べ学習コンクールの表彰式である。
宇津委員	これは本来、委員の部分に○印が付いている事業か。
石本教育長	付いていないと思う。去年が 1 回目で、今年が 2 回目だが去年、案内をしていないと思う。
藤本委員	この表で言うと、3 つの行事に参加するという事か。
石本教育長	そうである。あとは、学習発表会を追加させていただく。資料 7 の駅伝の関係で質問はあるか。
各委員	質問事項なし。
石本教育長	弥栄自治区の人権研修の件で質問はあるか。
	これは、ほとんどが弥栄自治区の方か。
森下分室長	そうである。人権を考える集いは今までは単独で行っていたので、支所の 2 階や弥栄会館の大研修室で行い、概ね 40 から 50 名の方に参加いただいていた。今回は祭りと合わせて行うという事で、どのくらいの規模になるかと思っている。都合がつく方は参加をいただきたい。
石本教育長	資料のある報告については以上で終了する。
	資料がないところで、学校教育課、報告事項はあるか。
佐々木課長	図書館を使った調べる学習コンクール、今日は昼から審査を行っているが、出品数が去年は 161 だったが、今年は 60 くらい増え 228 点の出展数であった。応募人数も、去年は 1,791 人だったが、今年は 2,432 人となっている。表彰式は 18 日だが、優秀賞 16 点、優良賞 24 点を選び、表彰したいと思っている。また優秀賞の 16 点の内 5 点は全国コンクールに出品する予定となっている。次回の定例教育委員会に結果が間に合えば報告をさせていただきます。

石本教育長
島田館長
渡邊課長

中央図書館長、報告事項はあるか。

報告事項なし。

浜田城周辺整備検討会の設置について（別添資料）

これは、議会の調査会及び全員協議会で発表したものである。

まず整備検討会について、平成 31 年に浜田開府 400 年を迎えるという事で、浜田城周辺を市民から親しまれる森として、教育・観光・交流の拠点として整備を行う事を検討している。これまでは、庁内で検討をしてきたが、検討会を設置するという事で、裏面に名簿がある。識見者及び歴史文化関係の団体、観光の団体、経済、地域、追加で地元の殿町と松原町の町内の代表の方も入るという事で、2 名追加の 23 名で行うという事である。

来週の 26 日に第 1 回の検討会議を行う。

検討内容は、資料の (3) ア、城山公園の整備について、頂上まで参道があるが、なかなか登りにくく、景観が悪いという事があるので、これをどの様に整備をするかという事について。イ、(仮称) 浜田歴史神楽館の整備について、浜田城を始め浜田市全般の歴史文化に関する資料の保存、情報発信できる施設を浜田城周辺に建設をしてはどうかという事の検討という事である。

その 2 点について、資料の今後のスケジュールの様に、城山整備については今年度中に 5 回程度の会議の開催、パブリックコメントを行い、取りまとめを行い、新年度予算に計上をしていきたいと考えている。

歴史神楽館については、大きな経費が掛かるという事で、慎重な検討、市民の皆さんの意見が必要である為、継続という事で来年の夏までは方針を出したい。それまでは、何回か検討会が開かれる。

「浜田城周辺整備」の基本的な考え方について、説明をする。これは平成 26 年度に、地域プロジェクト推進室の方で、コンサルタントを入れ、整備方針を考え、作成をされたものである。

浜田城周辺整備の目的について、教育・観光・交流の拠点にしていきたいという事である。浜田城を大きな観光拠点になる様、そして、大きな森があるので市民に親しまれる森として教育・観光・交流の拠点、また、ふるさとの歴史文化を知り、ふ

るさを愛する心の醸成を、観光面にあっては市内の「食・遊・泊」機能と連携し、交流の拡大を図るという事を目的にして、資料のような図になっている。教育の方でいくと、歴史教育を通じて見学、ふるさを愛する心を育む事を目指していきたい。

2 ページ目、浜田城周辺整備の全体像について、左下の図、大きくゾーンを 2 つに分けている。青いエリアが城山のエリア、茶色が歴史文化エリア、歴史文化エリアに現在御便殿があり、こちらと複合をして神楽館を建設してはどうかという検討をしている。また、城山自体、中のエリアを 4 つに分けており、①が景観コアゾーン、護国神社、津和野藩から持ってきた門もあるので、景観を楽しむゾーンにしていきたい。②が古城・石垣ゾーン、石垣を登っていくと二の丸の間に門の跡がある。その辺りの古城の趣を感じるゾーン。③が眺望ゾーンであり、頂上の本丸であるが、現在木が茂っており眺望が出来ないので、眺望が出来る様にして、色々と整備をしていきたい。④が桜の広場ゾーンであり、花見をされていた所であるが、桜が病気になり少なくなっている、この辺りを活用出来れば良いと思っている。風格を感じる巨木に覆われた森という事だが、実際に何度か歩いてみたが、実に巨木が多く、専門家に聞いてもこういった森は都市の中になかなかないという事である。椿が群生しているが、これも活用できないかという事である。歴史文化エリアは御便殿のエリアで、歴史神楽館を建設出来ないかという事である。

次ページ以降は、後程ご覧いただきたい。先程説明した様な事を載せている。

特に教育委員会としては、歴史や自然の学習や体験の場として整理をして、市民の皆さんが利用しやすくする様にと考えている。

4 ページの左側のイメージ図、現在は歩きにくい道や石垣がガタガタしている所があるので、そこを整備して登りやすく見やすくする様にしたい。出来れば、昔の井戸もあるが、現在木に覆われて見えない状態なので、その辺りも分かる様に整備が出来ればと思う。階段も整備したい。

5 ページ、樹木活用という事で、幹の周りが 3m 以上のものが巨木という事で、シイ、タブ、クス等が 81 本、大木は胴回

りが2m以上のものが148本の合計229本ある。樺は2,300本以上ある。江戸時代から続く森が残るエリアは珍しいという事で、これからどのように整備をしていくか、活用をしていくかという事が検討すべき内容である。城山エリアはいろいろな規制があり、例えば県の指定文化財にもなっており、保安林、公園都市計画公園、県立自然公園といったような指定をされているという事は、規制が掛かってくるという事で、木の伐採や、石垣の修復にしても県の指示を受けてからになる。この辺は、県と協議をしながら進めていく必要がある。

5、6 ページについては、歴史神楽館についてだが、これはかなりの金額が掛かる。約10億円程度が掛かると思われる。なかなか金額的な事、市民のコンセンサスも得なければならぬこともある為、今後色々な募集を使いながらどうあるべきなのかという事を検討していきたい。順番からいくと、浜田城の周辺整備から着手していきたい。

最後の7ページ、御便殿は茶色い屋根の建物である。土蔵の様な形で隣接して、歴史館を。そこで神楽を上演出る様にしてはという事で考えている。周辺の駐車場の整備、侵入道路の整備を行うという事で、これは立正佼成会の横から入る所、小川商会の横から入る道を整備して、川沿いの市道に抜ける様にしてはどうかという事を考えている。

石本教育長

文化振興課より、浜田城周辺整備について説明があった。浜田城周辺整備、教育委員会が主体で行っていると思われるが、地域政策部に地域プロジェクト推進室があり、そちらが事務局となっている。ある程度方向性が出来て、実際に整備をするという所になると教育委員会へ主担当が回ってくる。協議には教育委員会も参加しているが、委員方に情報提供が遅くなり申し訳なかった。

周辺の城山整備については、3月までに方針を出して、4月以降整備に取り組みたいという事で、歴史神楽館についてはじっくりと計画を練り、出来れば来年の8月までに方針を決めたいというスケジュールである。

このことについて、質問等あるか。

質疑応答

藤本委員

予算、財政的な事は考えずに、提案をされるのが検討会であ

るか。

渡邊課長 そういった事も当然出て来るが。

藤本委員 提案事項が優先であるか。

渡邊課長 そうである。自由にとはいかない。

石本教育長 中期財政計画では、この事業に18億円が認められている。恐らく、その中で行うように言われると思う。

18億円は建物だけか。

渡邊課長 用地買収、周辺環境整備を含めて全てである。

藤本委員 ストーリーをどのように考えるかという事がポイントであると思う。出来たら終わりではなく、どのように繋がっていくのかという事が重要である。ややもすると素晴らしい提案は、出来て終わりになる可能性がある。

石本教育長 教育委員会サイドからすると、中央図書館を建てる時、駐車場の一部の所に、郷土資料館が小さいので将来的に建て直すスペースは確保してあるという事になっている。駐車場の一部をつぶして、それを建てる事となると中央図書館は対応が大変になる。その構想がこちらに変わったという所はある。今から市民の意見を聞くので、大きなものは造らず身の丈に合ったものを造るような話になるかもしれないが。

藤本委員 御便殿の活用を一番に考えるべき。全般的に考えていると、どこに視点を置けばよいか分からない。視点は御便殿に置くべき。御便殿をどういう位置付けにするかという事。行かれる人はあまりいないのではないか。

石本教育長 消防法の関係で誰でも入れる施設にはなっていないので、なかなか行かれない。なんとなく外見は残したいが、展示スペースとして使用する様に改修するには多額の経費が掛かる。なかなか結論が出ないのが現状である。

しかし、そこを歴史館、浜田城資料館にという思いがずっとあり、民間の団体を作っておられ、寄付を集めておられるので、それを無駄にしないといけないので、何らかの方向性を出して歴史を手にする場所を整備する必要があると思う。そこに神楽館が必要かどうかという事は、議論が分かれるところであるとは思いますが。

宇津委員 その他に質問はあるか。

城山そのものが身近に感じられるか。今の時代、車でどこまで行かれるかという事にかかってくる。下に駐車場があり、上

	に上がっていくという事は、どこかに遠ざけるものがあるかもしれない。進入路が上の段まで行ける計画はないのか。
渡邊課長	進入路がなかなか難しい。バスで上がった出来れば良いが、上がったスペースが難しい。共同施設があるため難しい。
石本教育長	商工会議所の横に小川商会の所に入る道があるが、その奥にシルバー人材センターの辺りに恐らく駐車場が出来て、そこから登っていく経路が出来るはずである。歩いて上がるのも一つの手かもしれないが、どの位の距離で、どのくらい大変なのか、高齢者であれば難しい経路になるかもしれない。
藤本委員	観光的な視点になると道路の事があるが、歴史的な観点になると興味がある方は歩いて上がった方が良いと思う。今更、観光的にとっても、観光バスが来るという事ではないと思う。 道路を付けても観光客が来るだろうか。そこら辺から考えなければ、ストーリーにならず、作って終わりになる。維持、管理はどうするのかとなる。別々で考えなければ難しい。
石本教育長	神楽館、神楽が出来る所も合わせた歴史館になると、当然管理をするのは教育委員会になる。
藤本委員	大田の方に、石見神楽は浜田だけではないと言われた。確かにそうであると思った。大田、江津、邑智郡、益田にもある。その辺の事も耳にしながら、原点から議論をしなければいけないと思う。検討会で色々な意見が出ると思う。
石本教育長	その検討会の意見を受けて教育委員会の意見も出しておかなければならない。
	この件についてはよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	人権同和教育室長、報告事項はあるか。
小田室長	報告事項なし。

4 その他

石本教育長	その他のところで何かあるか。
各委員	特になし。

次回定例会日程

定例会 12月22日(火) 13時30分から 浜田公民館第1研修室

15:00 終了